

■ 住友生命のCSR体系とSDGsへの対応

住友生命は、経営方針のひとつとして「CSR経営方針」を策定し、CSR経営を推進しています。こうした中で、国連が提唱し日本においても官民挙げて取組みが

図られているSDGsなど、CSRを取り巻く国際的な潮流を踏まえ、CSR経営を推進する上で重要となる項目（CSR重要項目）について以下のとおり整理しています。

CSR経営方針とCSR重要項目

— CSR経営方針 —

住友生命は保険事業の健全な運営とその発展を通じて、豊かで明るい長寿社会の実現に貢献します。この理念のもと、誠実な業務遂行・健全な財務基盤を通

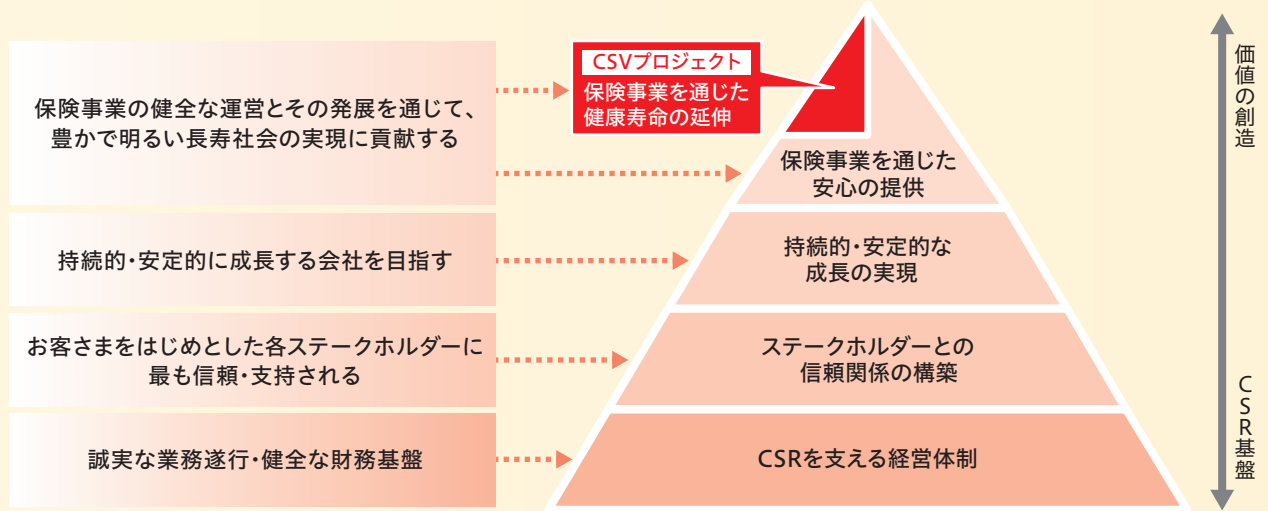
じ、お客さまをはじめとした各ステークホルダーに最も信頼・支持され、持続的・安定的に成長する会社を目指します。

- お客さまへ
お客さまからの信頼をあらゆる活動の起点とし、保険事業の健全な運営を通じて、一人ひとりに最適な生活保障サービスを提供します。
- ビジネスパートナーへ
ビジネスパートナーの信頼・支持を得て、ともに社会的責任を果たします。
- 従業員へ
従業員一人ひとりが誇りと自信をもっていきいきと働き

- 続けられる会社づくりに取り組みます。自由闊達でチャレンジ意欲あふれる組織風土を大切にします。
- 社会へ
社会の一員としての役割と責任を認識し、健康で心豊かな社会づくりと地域社会・国際社会の発展に貢献します。
- 地球環境へ
健康な暮らしを支えるため、事業活動において常に地球環境への影響に配慮し、その保護に積極的に取り組みます。

「CSR経営方針」に基づき、CSR経営を推進する上で重要となる項目（CSR重要項目）を以下のとおり整理しています。

— CSR重要項目 —



CSR重要項目の選定プロセス

1. CSR関連項目の洗い出し
国際的な各種ガイドライン等、外部リソースによる助言等を参考に、CSRに関連すると思われる項目の洗い出しを行いました。さらに、項目の集約と修正を行い調査の対象とする項目を抽出し整理しました。
2. 社内外の評価に基づく絞り込み
「1. CSR関連項目の洗い出し」で抽出した項目について社内外からの意見を反映し、「ステークホルダー視点」「当社事業視点」の両軸から優先順位付けを行いました。両軸からの優先順位をもとに、ステークホルダーと当社双方から見て特に重要度の高い16項目を選定しました。
3. CSR経営方針に基づいたCSR重要項目の検証
本プロセスから導かれた16項目が5つのCSR重要項目に当てはまることを確認し、その妥当性を検証しました。



特に、「保険事業を通じた健康寿命の延伸」については、「お客さま」「社会」「会社・職員」とともに健康増進

という新しい共有価値を創造する「CSVプロジェクト」を推進し、注力しています。

CSR重要項目ならびにSDGs※に対する取組み

CSR重要項目	SDGs項目	主な取組み(詳細ページ)
保険事業を通じた健康寿命の延伸		<ul style="list-style-type: none"> ●健康増進を軸としたCSVプロジェクトへの取組み(P20) <ul style="list-style-type: none"> ・お客さまへの「Vitality」の提供 ・社会全体への健康増進の働きかけ(スミセイ「Vitality Action」) ・職員とその家族が健康になる「健康経営」の推進
保険事業を通じた安心の提供		<ul style="list-style-type: none"> ●先進的な商品開発力(P30) ●事務サービス品質の維持・向上に向けた取組み(P49) ●法人のお客さま向け商品・サービスの充実(P34)
持続的・安定的な成長の実現	 	<ul style="list-style-type: none"> ●スミセイ中期経営計画2019の実行(P17) <ul style="list-style-type: none"> ・スミセイライフデザイナーによる販売・サービス体制の強化(P28) ・金融機関等代理店・保険ショップによる販売ネットワークの維持・拡大(P36) ・資産運用の高度化(P40) ・海外事業の展開(P44) ●イノベーションの推進(P52) ●ERM経営の推進(P51)
ステークホルダーとの信頼関係の構築	  	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さま満足の向上(P57) ●ビジネスパートナーとの共生 <ul style="list-style-type: none"> ・業務提携を通じた商品展開(P32) ●従業員の働きがいの向上(P60) ●豊かな社会づくり(P56) ●地球環境の保護(P55)
CSRを支える経営体制	 	<ul style="list-style-type: none"> ●コーポレートガバナンス(P62) ●内部統制システムの整備(P72) ●コンプライアンスへの取組み(P73) ●人権への取組み ●個人情報保護への取組み ●リスク管理体制の整備・高度化(P74)

ESG投資によるSDGsへの貢献についてはP42を参照願います。

各CSR重要項目と対応するSDGs項目を示すことで、当社がSDGs対応として重点的に取り組む分野を明確にしています。

※SDGsとは2015年の国連サミットにて採択された2030年までの国際開発目標です。環境・社会・経済の側面を重視した持続可能な社会を実現するために全ての国が取り組むべき普遍的(ユニバーサル)な目標であり、17の目標(ゴール)および169のターゲットが設定されています。

